

漁海況情報第7報 (2018年10月12日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0139

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

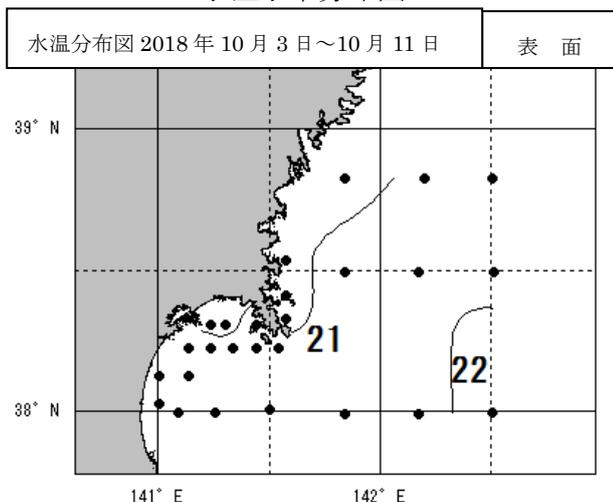
表層水温は平年並み～1℃高め、100m水温は平年より1～3℃高めとなっています。

宮城県沿岸の表面水温は20～22℃台、100m深水温は12～14℃台となっています。表層の水温は仙台湾内で平年並み、沿岸で1℃高めとなっています。水深100mでは142°E以東の沖合に暖水が波及し、平年より1～3℃高めとなっています [P1. 水温水平分布図] [P1. 水温平年偏差図]。鉛直断面図からは、水面から水深50mまでは混合が進み、比較的一様な温度となっていますが、それより下層では成層化が継続しています [P2. 水温鉛直断面図]。

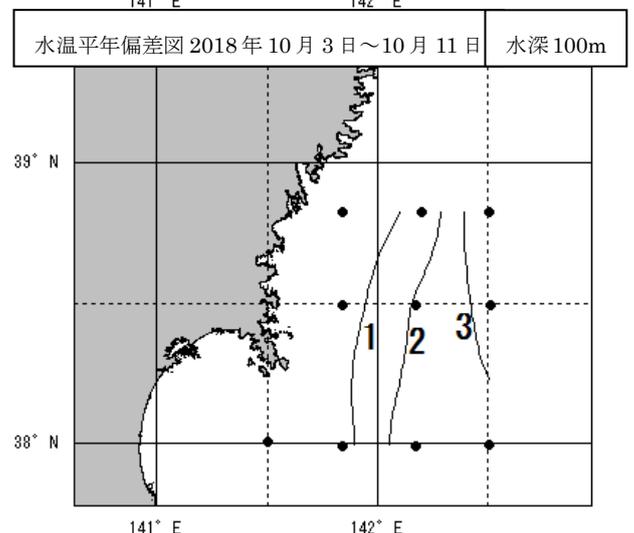
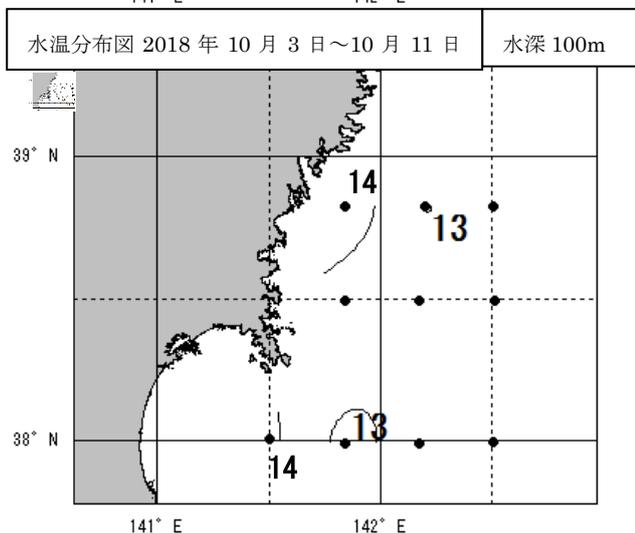
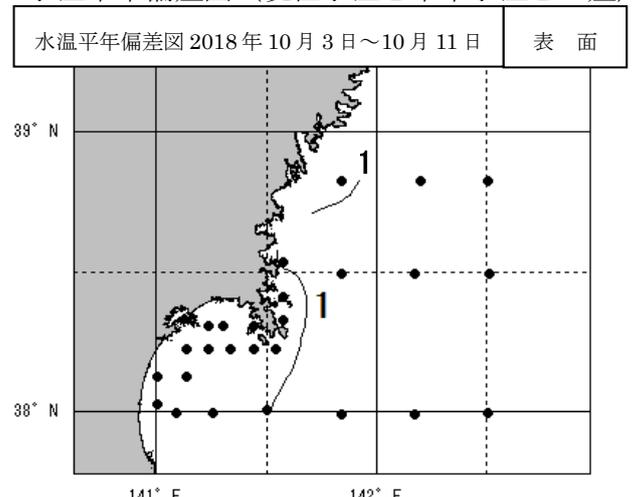
(一社) 漁業情報サービスセンター表面水温情報によると、親潮第一分枝は襟裳岬付近を南下し、北寄りの北上暖水が三陸沖暖水塊を形成しています [P2. 東北海域の海況図：(一社) 漁業情報サービスセンター]。

10月上旬の定地水温は20～21℃台で、歌津と亘理で高め、気仙沼・江島・田代島・佐須浜でやや高め、桂島で平年並みです [P3. 定地海洋観測図]。海底直上水温は7～21℃台で、仙台湾内では昨年より高めです [P3. 海底直上水温図]。

・ 水温水平分布図

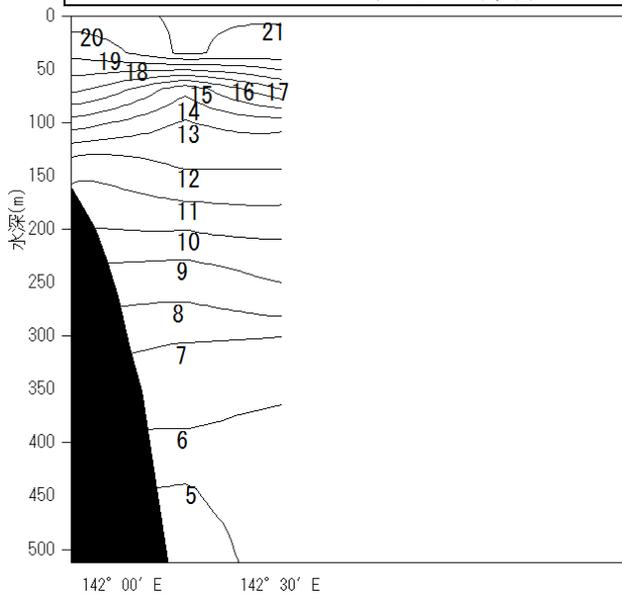


・ 水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)

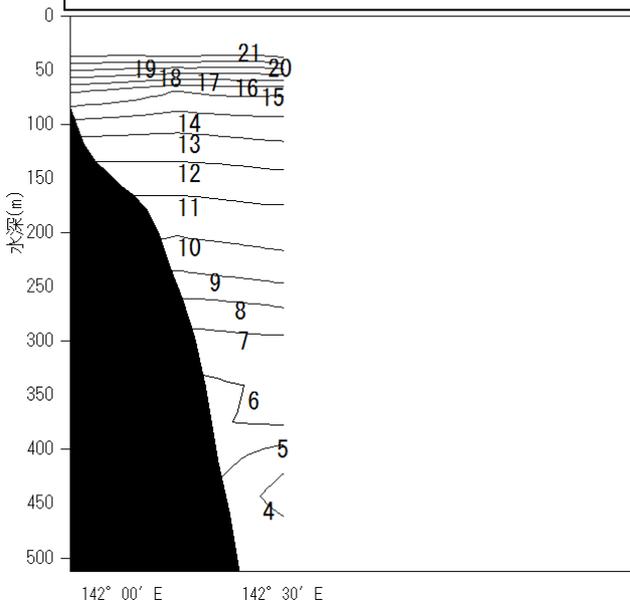


・水温鉛直断面図

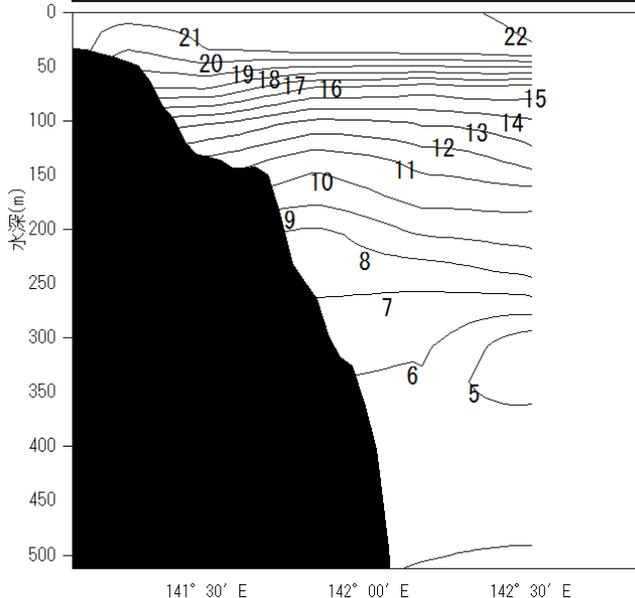
38° 50' Nライン (気仙沼沖合ライン)



38° 30' Nライン (雄勝沖合ライン)

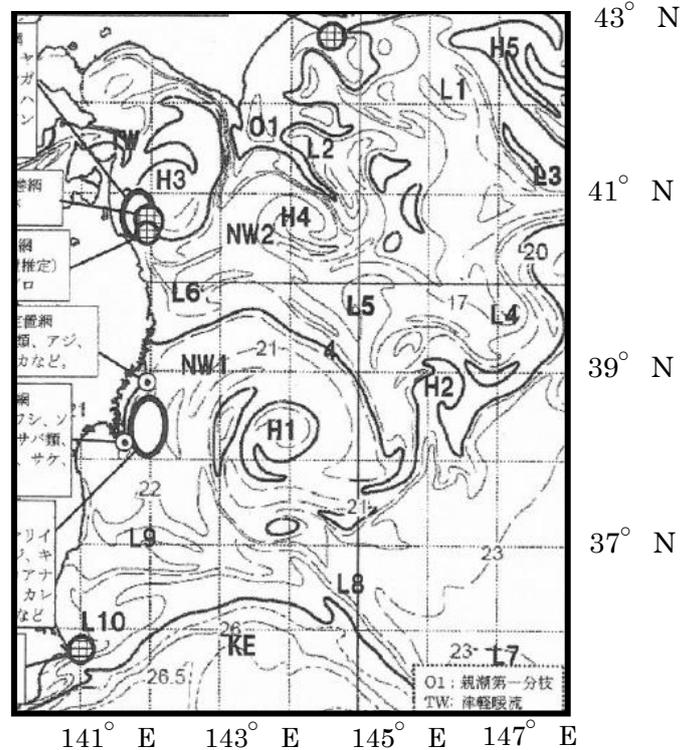


38° 00' Nライン (亶理沖合ライン)



2018年9月25日の東北海域の海況(表面水温)

(一社) 漁業情報サービスセンター



特記事項 (一社) 漁業情報サービスセンター

【海況】 (10月9日表面水温)

- ・親潮第一分枝, 15°C以下は襟裳岬付近を南下。
- ・津軽暖流は勢力を維持し暖水渦を形成。
- ・下北～宮古沿岸は緩やかに降温し19°C台。
- ・黒潮は南房総に接近後, 房総沖を東進。
- ・北寄りの北上暖水は 20～21°C台を維持し三陸沖暖水塊を形成。
- ・沖合を北上する暖水は 41° N 付近まで後退。
- ・山田～大津 20～21°C台、日立～九十九里 22～23°C 台。

【漁況】 (10月5～9日)

- ・まき網: 八戸沖ではサバ, マイワシ, セグロなど, 犬吠埼沖では二そうまき網がイナダとマイワシを漁獲。
- ・定置網: 石巻と大船渡はブリ類, サバ, アジなど主体。
- ・カツオ・マグロまき網: 茨城沖でキハダ主体に漁獲。
- ・竿釣: 千葉～宮城沖でカツオ主体に平均 2.1t/隻・日を漁獲。
- ・サンマ: 主漁場が西進, 東北への水揚げ増加。
- ・秋サケ: 岩手と宮城の水揚量は 9/30 現在, 昨年比 16～26%増。

・定地海洋観測



	10月上旬		平年差	前年差
気仙沼(杉ノ下)	20.7	やや高め	1.3	2.5
歌津	21.0	高め	1.6	2.5
江島	21.0	やや高め	1.4	2.4
田代島	21.2	やや高め	1.0	1.4
佐須浜	21.6	やや高め	1.4	1.5
桂島	21.3	平年並み	0.6	1.3
巨理	21.8	高め	1.6	1.9

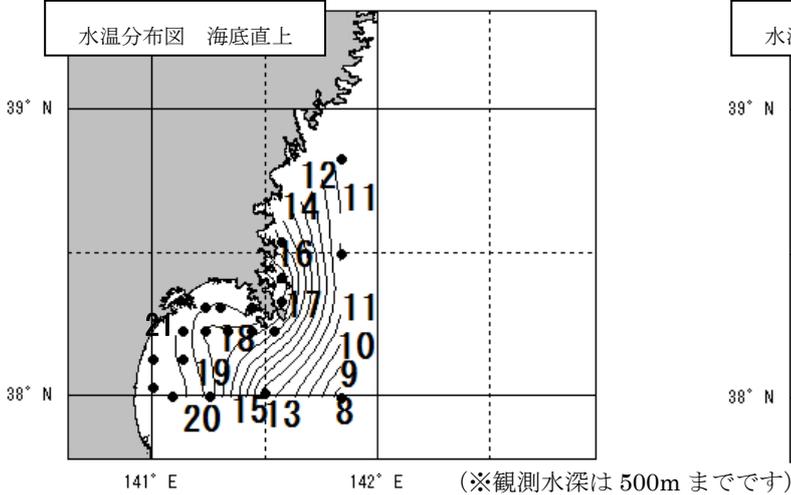
※平年値 岩井崎(過去30年)
 江島(過去30年)
 佐須浜(過去10年)
 歌津(平成28年12月から観測再開)
 桂島(平成24年3月から観測開始)
 巨理(平成24年10月から観測開始)

※最新の定地海洋観測結果は,

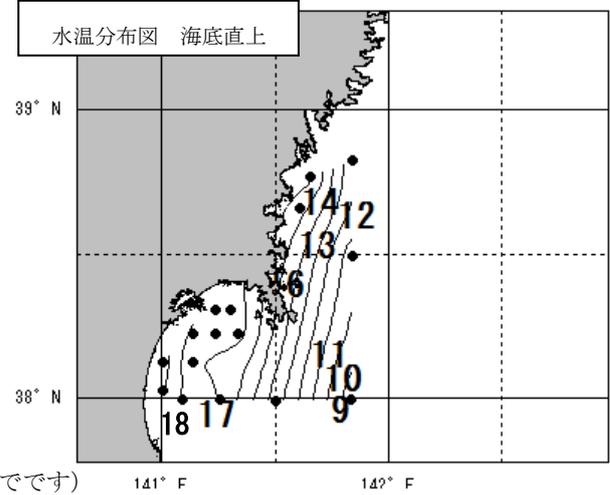
<http://www.miyagi-suisan-navi.jp>でも公開中です。

・海底直上水温図

・海底直上水温(2018年10月3日~10月11日)

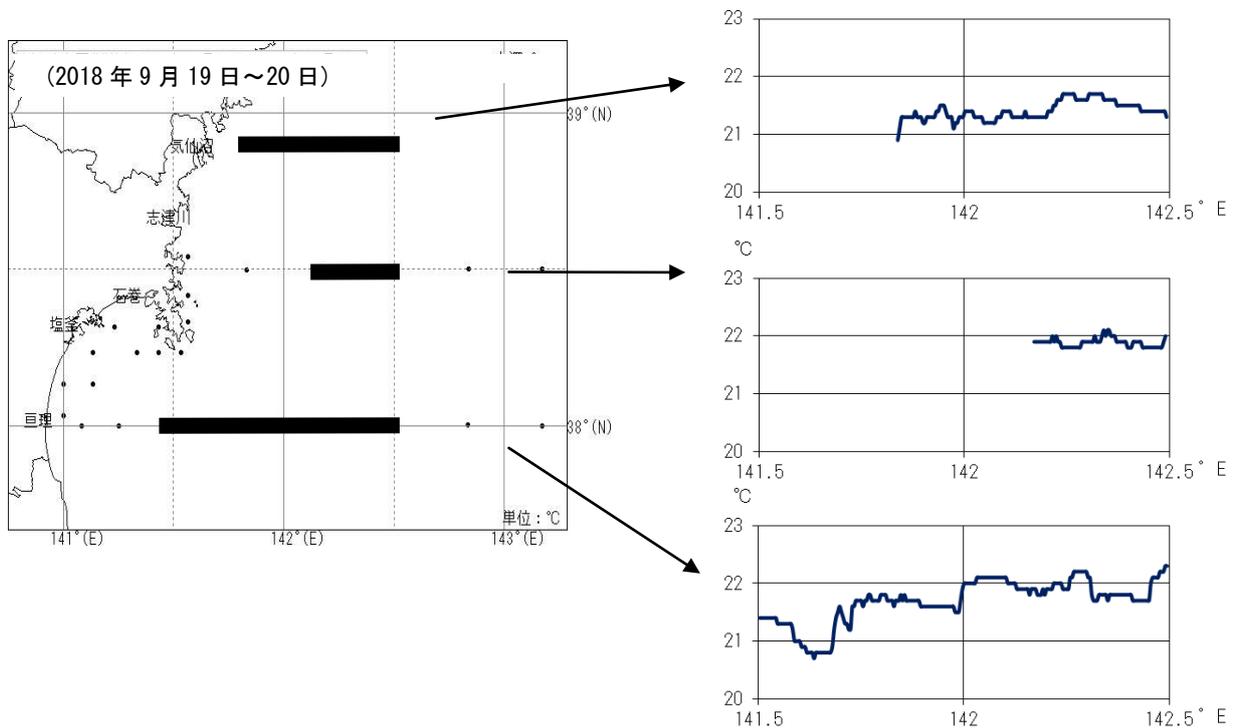


・海底直上水温(2017年9月27日~10月6日)



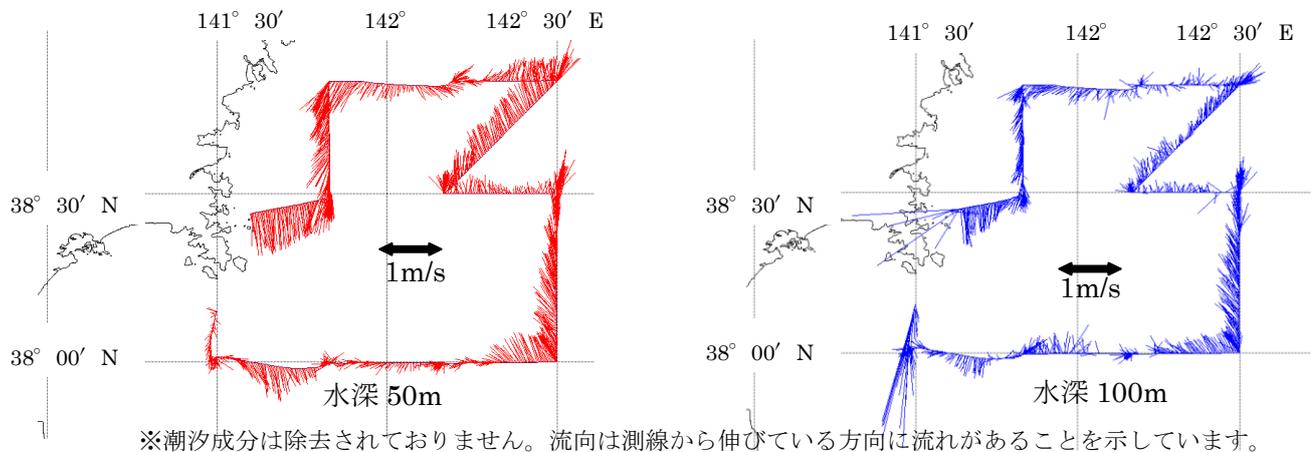
2. 表層水温情報

みやしおに搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記の通りです。



3. 流向流速情報

みやしおに搭載している「超音波ドップラー流向流速計(ADCP)」で取得した 50m,100m 深の流向流速は、下記の通りです。



4. 漁況

9月の水揚量は前年と比較して、ビンナガ、サンマ等の水揚げが大幅に増加しています。ブリ、マダラ、サワラ、マガレイ等の水揚げは大幅に減少しています。

2018年9月	沖底	小底	旋網	サンマ棒受	竿釣	定置網	刺網	いか釣り	延縄	流し網	その他	総計	前年同月比
ビンナガ					452				0	2	15	469	9387%
メバチ			1						97		7	106	32%
クロマグロ						2			0	1	1	4	103%
キハダ			190		20		0		0	0	0	211	89%
カツオ			303		2972	0	0			1	155	3431	93%
マアジ	45	21	0			28	2				1	100	115%
サバ類	52	4	0			83	9				10	157	26%
ブリ		1				281	1				5	288	13%
シロサケ	0	0				7	35				3	45	41%
ヒラメ	0	1				1	1				3	6	20%
マコガレイ	0	15	0			0	1				1	16	25%
マガレイ			1			0	0				0	1	16%
スルメイカ	482	9	1			3		14			0	508	49%
サンマ				4486							6	4493	586%
マイワシ						353					297	650	57%
カタクチイワシ						39						39	70%
マダラ	16	0					0		0		13	29	17%
サワラ		0				4	0		0		0	5	17%

(単位：トン)

5. 調査船運航計画

みやしお	
10月16～18日	カレイ類発生量調査
開洋	
10月18～19日	放射能サンプル調査(カゴ・胴)